

平成31年度 第1回学校運営協議会 記録

実施日 令和元年5月31日（金） 14時00分～15時00分（授業見学）
15時00分～16時00分（協議会）

参加委員 小山 正辰 森ノ宮医療大学 特任教授
小林 和幸 箕面市立第一中学校 校長
星川 朗 一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会 エデュケーションコンサルタント
小森 由貴 株式会社ベネッセコーポレーション 大阪支社
黒田 朋子 本校同窓会 光楓会（こうふうかい） 会計
太田 沙織 本校 PTA 副会長

事務局員 教頭 田中 徹
事務長 中川 秀明
首席 牧野 良昭
首席 森田 琢也

運営委員 進路指導部長 森下 稔之

記録係 藤原 真結 ・ 山岡 昇太郎

1. 学校からの説明

(1) 学校経営計画

ア 平成30年度より

- 自己評価：教科または科目ごとに評価の方法と基準の統一ができていないのが課題であり、統一が難しい教科もある。
- 教員勉強会：若手を中心に行っている。
- 新任教員の教育：管理職・首席を中心に行っている。
- ストレスチェックによると教職員全体のストレス度は16ポイント減と大幅に改善されている。
- 骨太英語：アウトプット型授業ができていないが、全体の授業アンケートからは理解が不足していることが読み取れ、今後の課題である。
- GTEC：骨太英語のアウトプット型授業が効果を上げている。
- 遅刻：減っていない。対策として、今年度より授業開始5分前正門チェックを実施している。

イ 平成31年度より

- キャリア教育：基礎的、汎用的能力の育成をすることで遅刻軽減、人との接し方を学ぶ。
- 中期目標：（スタディサポートの結果から）公立高校は入学後に学力が下がる傾向がある。
目標→ A3 から下げないようにする。
課題→ 家庭学習が不足している点をどうやって改善するか。
- 総合的な探究の時間：今年度より第2学年全学級展開。校外学習、修学旅行等と絡めながら進めている。

ウ 今年度の取組みの重点項目

- 学力の向上について：授業と自学自習のバランスをとらせることが必要で、そのために授業で必要なことを整理し、教員間で共有する。
 - ① 授業の初めに目標（めあて）を明示、授業の最後に授業で取り扱った内容を振り返らせることで、授業に継続性と授業の意味づけを持たせる。
 - ② ①を通じて、生徒個々における教科への興味を深め、家庭学習に向き合う意欲と姿勢を高めていく。
- カウンセリングマインドに沿った指導を行う。そのために、スクールカウンセラーと連携しながら生徒を支援する。

2. 進路実績の報告

- 昨年度に比して 54 期生の進学実績はやや伸び悩んだが、受験回数は増えており、受験への意欲は高まっている。
- 進学実績が伸び悩んだ理由としては、センター試験後の出願で、あくまでも生徒の第一志望を優先したことが考えられる。生徒の意思を尊重し、生徒自身が納得して挑戦させる進路指導を続けた。
- 過去 5 年間で国立難関 10 大学の進学実績はほぼ変化なし。
- 公立大学の進学実績が減少したが、理由としては地方の国立大学への進学が増加したためと考えられる。
- 関関同立、産近甲龍、GMARCH の進学実績は、昨年減少したが、今年は回復した。
- 摂神追桃も入試が厳しくなっている。
- 海外大学はアメリカへの進学実績が増加。費用面からマレーシアの大学への進学も増加している。
- グローバル科は半数以上が国公立大学志望であり、普通科でも増加傾向にある。

3. 委員からの意見等

太田委員 何らかの形で学校と保護者がかかわる機会を増加させてほしい

黒田委員 学校の行事予定をオープンにしてほしい

星川委員 可能な範囲で学部まで進学情報が分かるようにしてほしい

小林委員 未経験の部活動の顧問となったときの指導法のノウハウを共有してほしい

小山委員 若手の意欲をあげる方向で、若手教員への指導をより充実させてほしい

4. その他

次回の学校運営協議会を 令和元年 11 月 6 日（水） 14:00 より行うことを決定。
授業見学を行った後、協議に入ることとした。